



ねこ電 [数量] のデータ入力画面

設備名称入力画面

ねこ電 Ver.2 - サンプルポンプ場

ファイル(F) 編集(E) 挿入(I) データベース(D) 設定(S) 変換(C) 表示(V) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

サンプルポンプ場

根拠入力 | 数量計算 | 寸法計算 | 概算 |

N...	設備名称	ケーブル	材料	機器	総合試運転
1	受変電設備	8	14	4	ポンプ場
2	運転操作設備	5	9	6	〃
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					

設備のプロパティ

設備名: 受変電設備
半角換算で50文字まで 現在10文字

総合試運転タイプ: ポンプ場

データ数:

種別	今回	将来	仮設	移設	再利用	撤去	合計
ケーブル	8	0	0	0	0	0	8
材料	14	0	0	0	0	0	14
機器	4	0	0	0	0	0	4

ケーブルデータ入力画面（配線表）

ねこ電 Ver.2 - サンプルポンプ場[変更あり]

ファイル(F) 編集(E) データベース(D) 設定(S) 表示(V) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

サンプルポンプ場【変更あり】<受変電設備>-ケーブル(配線)

「ケーブル」の[種類No.]を入力してください ◇作業:[コマンド](キー)

ケーブル名の登録/参照は[データベース]-[ケーブル]電線管名称...]
短縮入力の登録/参照は[データベース]-[配線短縮入力登録...]

短縮入力例1: 605: 600V EM-CE ---> 6
短縮入力例2: 405: EM-CEE ---> 4
短縮入力例3: 305: EM-CEE-S ---> 3
ケーブルの選択: スペースキー(新機能)

●前後の行の北^: [前北^](F10) [後北^](Shift+F10)
「ケーブル」「端末処理材」「接地線」「電線管」を北^します

●根拠/ラックの表示: [表示]-[根拠](F3)/[ラック](Shift+F3)
●指定の行に移動: [編集]-[ジャンプ](Ctrl+J)
●次行に先頭に移動: [Ctrl+Enter]キー

行	工事区分	No.	幹線 機器	自(記号)	自(名称)	至(記号)	至(名称)	ケーブルNo.	名称	形状	芯数	本数	端末屋外	端末屋内	接地 線 No.	名称	形状	電 線 管 No.	名称	形状	本数
1		1001	PAS	PAS	HP-1	引込盤	6015	6KV EM-CET	38	sq		1	1	1				30	PE	82	
2		1002	PAS	PAS	HP-1	引込盤	605	600V EM-CE	3.5	sq	2	c	1				30	PE	28		
3		1003	PAS	PAS	HP-1	引込盤	405	EM-CEE	2	sq	2	c	1								
4		1004	HH-1	ハンドホール	HH-2	ハンドホール												42	難燃FEP	200	
5		1005	HH-1	ハンドホール	HH-2	ハンドホール												42	難燃FEP	150	
6		1006																			
7		1007	EP-1	接地端子箱	EA	接地極EA	105	EM-IE	100	sq			1								
8		1008	EP-1	接地端子箱	ET1	接地極ET1	105	EM-IE	14	sq			1								
9																					

入力項目毎に上部にガイダンスが表示されますので、初めての方にも使いやすくなっています。

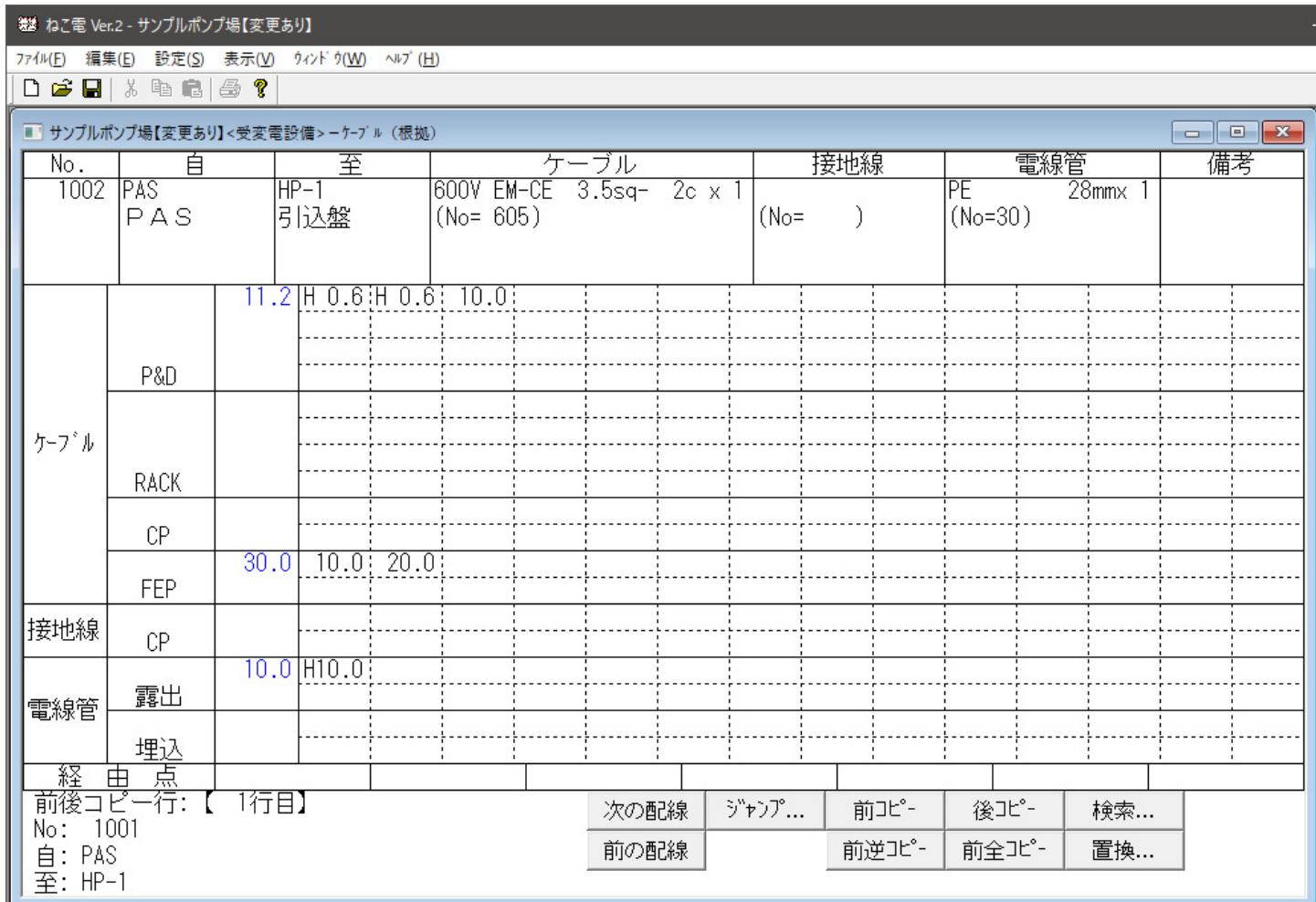
[前コピー] (F10) は、ワンタッチで前行のデータをコピーする機能です。Ctrl+C、Ctrl+V よりも簡単です。

よく使用するケーブルは、短縮入力が可能です。

使用例 [ケーブルNo]欄で[6][Enter]で [605][600V EM-CE]が入力できます。

[f3] で「根拠表」の画面に、[Shift]+[f3]で「配線ルート」の画面に切り替えます。

ケーブルデータ入力画面（根拠表）



根拠数値欄の「H」は高さ方向の拾いであることを示します。

高さが10mの場合は、H10と入力します。印刷時は括弧付きで(10.0)と印字されます。

[前全コピー] は、配線表前行の根拠をまるごとコピーします。

[前逆コピー] は、配線表前行の根拠を逆順でコピーします。

使用例 A → B 間の根拠 [1.0+2.0+3.0] を、 B → A 間の根拠 [3.0+2.0+1.0] でコピーします。

[検索] は、根拠群で検索可能です。

使用例 [10.0+20.0] で検索する。

[置換] は、根拠群で置換可能です。

使用例 [10.0+20.0+2.0] を [10.0+18.0+2.0] に置換する。

「確認しながらの置換」と「全て置換」ができます。

複数の根拠数値で置換することにより、誤り置換を低減できます。

同じルートを通る沢山のケーブルを修正する時に、漏れなく非常に

ケーブルデータ入力画面（配線ルート）

ねこ電 Ver.2 - サンプルポンプ場【変更あり】

ファイル(F) 編集(E) 設定(S) 表示(V) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

□ ○ × ?

サンプルポンプ場【変更あり】<受変電設備>-ケーブル(ルート)

No.	自	至	ケーブル	接地線	電線管	備考
1001	PAS P A S	HP-1 引込盤	6kV EM-CET 38sq x 1 (No=6015) 端末 屋外 1組 屋内 1組	(No=)	PE 82mmx 1 (No=30)	引込ケーブル
ダクト						
ラック			1			
管	CP					
	FEP					

ケーブル毎に配線ルートを入力します。

ケーブルがラック 1 を通っている場合は、上図の様に入力します。

ラック・ダクト・電線管の寸法計算は、ルート毎にケーブルを集めて計算します。

材料データ入力画面

新規ねこ電 Ver.2 - サンプルポンプ場【変更あり】

ファイル(E) 編集(E) データベース(D) 設定(S) 表示(V) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

□ サンプルポンプ場【変更あり】<受変電設備> - 材料

行	工事区分	No.	区分	明細	名称・形状・単位	数量
1		1-1	高压引込管路	電線管類	ベルマウス FEP 200φ用 個	2
2		1-1	"	"	" FEP 150φ用 "	2
3		1-2	電柱装柱材	電柱装柱材	コンクリート ポール 12m-19cm- 350kg 本	1
4		1-2	"	"	ポール底板 丸型No.1 個	1
5		1-2	"	"	コンクリート 根かせ (バンド付) 1200*240*170 "	1

物件材料

材料群： 登録材料： フォルダ... 挿入 削除 選択 選択中止

名称(上)	名称(下)	形状(上)	形状(下)	単位
コンクリート	ポール	12m-19cm-	500kg	本
"	"	"	350kg	"
"	"	10m-19cm-	"	"
"	"	8m-14cm-	200kg	"
コンクリート	鋼管ポール	ポール底板	丸型No.1	個
"	鋼管ポール	腕金	1.8 - ヒ	本
"	"	"	1.5 - テ	"
"	"	根かせ	1.2 - ト	"
丸型	アームタイ	(バンド...)	2.3*25*945	"
低圧	低圧用ラック	引留がいし	75*65	個
"	"	多溝がいし	"	"
"	"	強力バンド	19cm	"
"	"	"	10cm	"
"	"	バンド	13cm	"
自在	アームバンド	UABD 317	"	"
"	自在バンド	3BD-HD17	"	"
"	"	IBT-212	"	"
耐張	ストラップ	L=220	"	"
高圧	中線引留金物	C P用	"	"
"	耐張がいし	普通形	"	"
"	耐張引留金具	"	"	"
"	ピンがいし	普通形	"	"
"	"	耐塗形	"	"
支線	足場ボルト	CP用	本	"
"	(材料)	45sq(7/2.9)	kg	"
"	"	38sq(7/2.6)	"	"
"	(半掛け)	45sq(7/2.9)	箇所	"

材料のプロパティ：

項目	設定値
材料名(上)	コンクリート
(下)	ポール
形状(上)	12m-19cm-
(下)	350kg
単位	本
拾い集計値(A)	無処理
材料補完率(B)	0
補完数量値(C)	無処理
設計数量値(D)	G
少数値処理	無処理(通常...)
電工	3.48
普通作業員	1.74
技術者	
配管工	
はつり工	
価格(円)	
付属材料率	
データ使用中	1

名称変更... 挿入 削除 前コピー コピー 切り取り 貼り付け ↑ * は使用中

新規物件作成時に、システムの材料が、物件データファイル内に「物件材料」として取り込まれます。

材料の入力は、この「物件材料」からの選択方式です。

「物件材料」は、この物件専用ですので自由に編集して構いません。

よく使用する材料が「物件材料」に無い場合は、予めシステムの材料に登録しておきます。

材料データ入力画面（グループ入力）

材料は、グループ入力が可能です。

次は、「電柱装柱材 高圧」関係の18種類の材料をまとめて入力する例です。

システム材料から選択入力

選択行	明細名	材料名	形状	単位	数量
<input checked="" type="checkbox"/> 1	電柱装柱材	コンクリートポール	12m-19cm-350kg	本	1
<input checked="" type="checkbox"/> 2	"	ポール底板	丸型No.1	個	1
<input checked="" type="checkbox"/> 3	"	コンクリート根かせ	(バンド付)1200*240*170	個	1
<input checked="" type="checkbox"/> 4	"	腕金	1.8 - ヒ	本	1
<input checked="" type="checkbox"/> 5	"	腕金	1.2 - ト	本	3
<input checked="" type="checkbox"/> 6	"	丸型アームタイ	2.3*25*945	本	4
<input checked="" type="checkbox"/> 7	"	強力バンド	19cm	個	1
<input checked="" type="checkbox"/> 8	"	自在アームバンド	UABD 317	個	4
<input checked="" type="checkbox"/> 9	"	自在バンド	3BD-HD17	個	5
<input checked="" type="checkbox"/> 10	"	自在バンド	IBT-212	個	9
<input checked="" type="checkbox"/> 11	"	高圧ピンがいし	普通形	個	3
<input checked="" type="checkbox"/> 12	"	足場ボルト	CP用	本	14
<input checked="" type="checkbox"/> 13	"	支線(材料)	45sq(7/2.9)	kg	3.66
<input checked="" type="checkbox"/> 14	"	支線(歩掛り)	45sq(7/2.9)	箇所	1
<input checked="" type="checkbox"/> 15	"	ステーブロック	700*350ロット付	組	1
<input checked="" type="checkbox"/> 16	"	玉がいし		個	1
<input checked="" type="checkbox"/> 17	"	巻付グリップ		個	4
<input checked="" type="checkbox"/> 18	"	支線ガード	硬質ポリエチレン	本	1

次は、「フリーアクセスフロア」関係の10種類の材料をまとめて入力する例です。

システム材料から選択入力

選択行	明細名	材料名	形状	単位	数量
<input checked="" type="checkbox"/> 1	フリーアクセスフロア(監視...)	無筋コンクリート	18N/mm ²	m ³	
<input checked="" type="checkbox"/> 2	"	モルタル仕上げ	20mm	m ²	
<input checked="" type="checkbox"/> 3	"	金ゴテ押さえ		m ²	
<input checked="" type="checkbox"/> 4	"	型枠		m ²	
<input checked="" type="checkbox"/> 5	"	ピット縁金物	L-40*40*5t	kg	
<input checked="" type="checkbox"/> 6	"	ピット縁金物	RB φ 9	kg	
<input checked="" type="checkbox"/> 7	"	防塵塗装		m ²	
<input checked="" type="checkbox"/> 8	"	ビニル巾木		m	
<input checked="" type="checkbox"/> 9	"	フリーアクセスフロア		m ²	
<input checked="" type="checkbox"/> 10	"	帯電防止タイル		m ²	

機器データ選択画面

システム機器

グループ:	機器グループ1 一般	入力工事: 本設	選択完了
機器種別:	2 变压器盤、低压盤 (33)		選択中止
機器:	ダブルクリックもしくは[Space]キーで[選択]		
機器名称	取付器具、容量、形式等	<input type="button" value="選択"/> <input type="button" value="詳細..."/>	
照明変圧器盤	モールド1 φ 75kVA		
照明変圧器盤	モールド1 φ 100kVA		
照明変圧器盤	モールド1 φ 150kVA		
照明変圧器盤	モールド1 φ 200kVA		
照明変圧器盤	モールド1 φ 300kVA		
照明変圧器盤	モールド1 φ 500kVA		
照明変圧器盤	モールド1 φ 750kVA		
照明変圧器盤	モールド1 φ 1000kVA		
照明変圧器盤	モールド1 φ 1500kVA		
簡易キュービック	簡易キュービック 低圧用		
ロードセクタ	ロードセクタ ACB1段積み		
ロードセクタ	ロードセクタ ACB2段積み		
ロードセクタ	ロードセクタ ACB3段積み		
MCCB盤	MCB収納盤 W900*H2300*D1500		
MCCB盤	MCB収納盤 W1200*H2300*D1500		
分電盤	コントロールセクタ形 マグネット無し		

選択機器:

機器名称	取付器具、容量、形式等	<input type="button" value="選択解除"/> <input type="button" value="↑と入替"/> <input type="button" value="↓と入替"/>	
引込盤	DS*1,VT,CT		
受電盤	VCB20kA以下 LA,ZPC,ZPT		
変圧器盤	モールド3 φ 300kVA		
MCCB盤	MCB収納盤 W900*H2300*D1500		

機器の入力は、選択方式です。

上段で機器を選択すると、下段の選択機器欄に表示されます。

上図では、引込盤、受電盤、変圧器盤、MCCB盤を選択しています。

[選択完了] をクリックすると物件データファイルに取り込まれます。

機器データ入力編集画面

ねこ電 Ver.2 - サンプルポンプ場【変更あり】

ファイル(F) 編集(E) データベース(D) 設定(S) 表示(V) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

□ フォルダ ファイル ブックマーク 帮助 ?

サンプルポンプ場【変更あり】<受変電設備> - 機器

行	工事	機器名称	形状<据付>	単位	数量	単位工量<据付>
1		引込盤	W900*H2300*D2000	面	1	技0.43 電5.3 単0.37
2		受電盤	W700*H2300*D2000	面	1	技0.73 電5.9 単0.84
3		変圧器盤	モールド 3q300kVAW1000*H2300*D2000	面	1	技1.2 電6.1
4		MCCB盤	W900*H2300*D1500	面	1	技0.54 電4.6
5						

行	FRMT	機器名稱	取付器具、容量、形式等			
1		引込盤	DS*1, VT, CT			

	形式	単位	数量	単位重量等	備考	
据付	W900*H2300*D2000	面	1	重t 0.85	金属開鎖形スイッチャ1 補助盤	
試験		面	1	↓()付は天吊形	金属開鎖形スイッチャ (引込盤)	
重熱		面	1	重t(天) 熱Kcal/h 0.85 700	1管理棟電気室	
金額		面	1	100000000 +*		
		面	1	10,000,000 円		

据付の 単位工量	技術者	電工	技術者単体調整	普通作業員	歩掛ページ
	0.43	5.3	0.37		
	配管工	機械工	A工種	はつり工	
	列盤当該盤+20%				

試験の 単位工量	技術者	電工	技術者単体調整	普通作業員	歩掛ページ
	1.3				
	配管工	機械工	A工種	はつり工	

Eモード=自動 ←切替は[Ctrl+A/M] 入力モード= 上書き ←切替は[Insert]
据付[技術者]の単位工量 を入力してください

- 計算式は四則計算(+-* /)と括弧()で入力
- べき乗計算は^ (例6)
- 重量の値は t で代用可(例6)
- []は「有効2桁、以下切り捨て」の処理
- <>は「有効3桁、以下切り捨て」の処理
- 計算式に[]<>がある場合、計算結果では端数処理しない(例5)
- 計算式の括弧は()

例1： 2.345 → 2.345 (自動計算、端数処理しない)
 例2： 7.7*1.2 → 9.2 (有効2桁、以下切り捨て)
 例3： [7.7*1.2]+0.32 → 9.52
 ([]の部分で有効2桁、以下切り捨て、
 計算結果は端数処理しない)
 例4： 7.7*1.2+0.32 → 9.5 (計算結果で端数処理する)
 例5： [0.32]*6 → 1.92 (計算結果では端数処理しない)
 例6： 11.3*t^0.714 → 18 (重量t=2.0の場合)
 例7： 11.3*t^0.714=18.5 →18.5
 (計算結果まで入力し、最後に\$とすれば自動計算しない)

全ての表に出力 集計表に出力 メモ(出力されない)

合計一覧と設計書に出力 設計書に出力 集計・計算用入力(出力されない)

選択入力した機器を、物件の内容に合わせて部分編集します。

入力項目毎に右側にガイダンスが表示されます。

色分けは、どの表に出力されるかを示しています。

黄色は、機器選択時や入力時のためのメモでどこにも出力されません。

金額は、ねこ電【概算】の設計書で使用します。

金額欄上段には、機器費×査定率(または余裕率)を入力します。